

特別展 生誕130年・東京都制施行80周年記念

こいずみお
小泉癸巳男の《昭和東京百図絵》で巡る

レトロでモダンな東京散歩



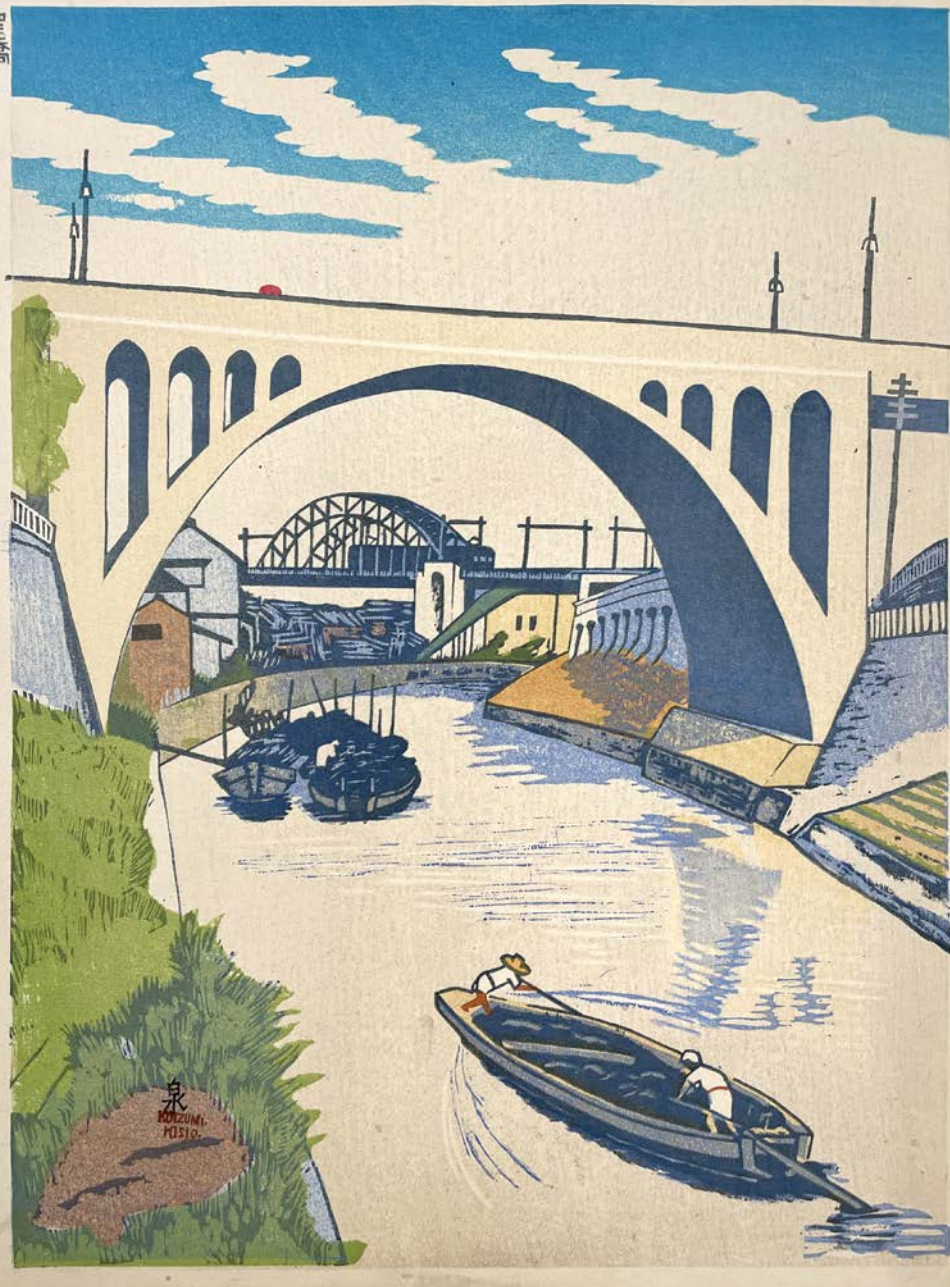
昭和お茶し



Retro and Modern Tokyo Stroll

青梅市立美術館
青梅市立小島善太郎美術館
Ome Municipal Museum Of Art

聖橋



2023
10.7^土
11.26^日



前期:10月 7日(土)~10月29日(日)

後期:10月31日(火)~11月26日(日)

※作品は全点入れ替わります。詳細はホームページでご確認ください。

| | |
|-------|---|
| 開館時間 | 午前9時~午後5時(入館は午後4時30分まで) |
| 休館日 | 毎週月曜日(ただし、10月9日(月・祝)は開館し、10月10日(火)は休館します) |
| 観覧料 | 一般700円(500円)、小・中学生300円(200円) |
| 主催・会場 | 青梅市立美術館 |
| 協力 | 昭和館、信州新町美術館 |

*前期展の有料チケットの半券を御持参の方は、後期展を一般300円、小・中学生100円で御観覧いただけます。
 *()内は20名以上の団体割引料金です。
 *障害者手帳をお持ちの方と付添いの方1名(障害者手帳を御提示ください)、青梅市内在住の65才以上の方(マイナンバーカード、運転免許証、健康保険証など住所と生年月日のわかるものをお一人ずつ御提示ください)は無料です。
 *青梅市内の小・中学生は土曜・日曜・祝日は無料です。
 *青梅市古川英治記念館との共通観覧券は使用できません。

小泉癸巳男の 《昭和大東京百図絵》 で巡る レトロでモダンな 東京散歩



③



④



⑤



⑥

会期中のイベント

●ゲスト・キュレーターによる ギャラリー・トーク

講師：前澤朋美氏（信州新町美術館 学芸員）
日時：10月22日（日）午後1時開演
（午後0時30分から受付開始）
定員：20人（先着順）
会場：2階展示室
参加費：無料（ただし、要観覧券）
内容：小泉癸巳男の作品を最も多く所蔵する
信州新町美術館から講師をお招きし、小泉
作品の見どころや、戦前期の創作版画運動
等についてお話しいたします。

●当館学芸員によるギャラリー・ガイド

日時：10月29日（日）、11月4日（土）
各日とも午後2時～（午後1時30分から受付開始）
定員：20人（先着順）
会場：2階展示室
参加費：無料（ただし、要観覧券）

●実技講座

講座名：「木版画でクリスマスカードを作ろう」
日時：10月7日（土）、14日（土）、21日（土）、28日（土）
いずれも午後1時～3時（4回連続講座）
講師：井上厚氏（木版画家）
対象：一般（小学5年生以上）
参加費：700円くらい（材料費）
持ち物：彫刻刀他
定員：15人（申込先着順）
会場：1階市民ギャラリー
申込み：9月4日（月）～9月15日（金）まで
土・日曜を除く、午前9時～午後5時に
電話で申込み受付

※詳細はホームページを御確認ください。



⑦



⑧



⑨

版画という表現が今日よりも盛り上がりつつあった昭和初期に、小泉癸巳男（こいずみ・きしお、1893～1945年）は自画・自刻・自摺を旨とする、創作版画家として活躍した人物です。その代表作が、1928～40年に制作され、1930年から頒布された《昭和大東京百図絵》であり、確かな技術にもとづく本作は、美術作品としてのみならず、現在では在りし日の東京の姿を映した、史料としての側面を持っています。

本年は小泉が《昭和大東京百図絵》の制作を思い立った、関東大震災から100周年、そして自身の生誕130周年に当たりますが、東京都制施行80周年の節目の年でもあります。芸術の秋、東京を舞台にしたレトロでモダンな小泉の作品世界に、遊んでみるのはいかがでしょうか。

掲載作品 小泉癸巳男（木版／紙）

- ①《昭和大東京百図絵30 聖橋》1932年
- ②《同84 東京駅と中央郵便局》1936年
- ③《同44 十二月二十九日皇太子殿下御命名祝日の日本橋》1934年
- ④《同44（下絵）》1934年
- ⑤《同89 築地・本願寺》1937年
- ⑥《同83 帝国ホテル玄関》1936年
- ⑦《同76 東京市役所》1936年
- ⑧《同36 浅草・西の市（改版）》1940年
- ⑨《同35 市政会館と勤業銀行》1932年

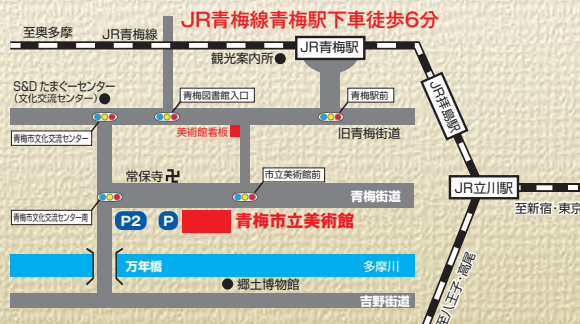
④は信州新町美術館蔵、他はすべて昭和館蔵 ※①～④と⑧⑨は前期展示、⑤～⑦は後期展示

青梅市立美術館 青梅市立小島善太郎美術館

JR青梅線青梅駅下車徒歩6分 東京都青梅市滝ノ上町1346-1

TEL 0428-24-1195 / FAX 0428-23-8229

WEB <https://www.city.ome.tokyo.jp/site/art-museum/>



美術館へはなるべく公共交通機関をご利用のうえ、ご来館ください。